

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団災害対応能力向上事業

自治体名

愛知県豊明市

消防団名

豊明市消防団

1 事業の目的

消防団が大規模災害に対応できるよう、より実践的な訓練を取り入れるべく、これまで行ってきた消防操法に代わって、新たに訓練内容を大幅に変更した新訓練に移行することによって、災害対応能力の向上を図ることを目的とした。

2 事業内容

実災害で資器材を有効に活動できるよう尾三消防本部豊明消防署の署員の指導を受けながら取扱い訓練を実施するとともに消防団に合わせ、可能な限り実災害に備えた訓練をすることで消防団員の災害対応能力を向上させることに努めた。

また、令和7年度より従来実施していた消防操法から実災害を想定した訓練へと方針を転換し、より実践的な内容で訓練を実施した。

3 事業成果

長年実施してきた消防操法からの転換であったため、当初、一部の団員は節度を省略した行動に戸惑いはあったが、訓練を重ねるにつれ、より効率の良い方法を独自で編み出す等、各分団が創意工夫を重ね訓練する様子が見受けられた。

実施要領も従来の消防操法と比べて、各団員の裁量で行うことができるよう幅をもたせた内容としたことで、訓練中に団員同士がどうすれば良くなるのか等の話し合いやコミュニケーションを頻繁にとる場面が多く見られ、団員自らが考え活動することに繋がった。

その結果、団員の活動負担が軽減され、消防団の警防技術の向上に繋がった。

また、常備消防との合同訓練においても新資器材の取り扱いを消防署員からレクチャーを受けるなどの訓練を通じて、活発な意見交換が生まれ消防団員と消防署員との顔が見える関係構築等、新資器材導入による副次的な効果も見受けられた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
資機材取扱い訓練	回数	5回	5回	
新資機材訓練回数	回数	5回	3回	
訓練参加者	人数	50人	71人	

5 その他参考情報

防災防犯対策課インスタグラム

<https://www.instagram.com/bousai.toyoake?igsh=OGR1OXo0OW94M2V0>

